

広報

にしあいづ

12

2022

No.770



もくじ - Contents -

P2 特集 **第37回 西会津ふるさとまつり**

P6 まちの話題

西会津小学校マラソン記録会、西会津中学校光桐祭、秋季消防検閲、
早寝早起き朝ごはんキャラバン ほか



4



3



2



1



5

第37回 西会津の文化と産業祭

西会津 ふるさと まつり

11月5日～6日、第37回西会津の文化と産業祭「西会津ふるさとまつり」が開催されました。

3年ぶりに通常開催された今年は、町内外から連日2,000人を超える来場者があり、2日間を通してにぎわいを見せました。メイン会場のさゆり公園では、新そばや味噌ラーメンなどのグルメ、ミネラル野菜や菌床キノコをはじめとした農林産物・特産品が販売され、多くの買い物客が詰め掛けました。このほかにも、さゆり公園管理棟・体育館では、町内学校の児童生徒と町民の皆さんの「作品展」や、VR技術

を体験できる「デジタル体験コーナー」、新たに開催した「eスポーツ体験会」など、見て・聞いて・体験できるさまざまなコーナーが設けられました。

メインステージでは、恒例の「桐ゲタ投げ全国大会」や「にしあいづ紅葉ウォーク」、音楽アーティストと吉本興業株式会社所属のお笑い芸人による「さゆりラフ&ミュージックフェス」、ご当地ヒーローの「丞神デナーショー」などの多彩なイベントが開催されました。最後には、西会津産米や特産品などが当たる「西会津ふるさと大抽選会」が開催され、豪華景品を狙う参加者の皆さんで今回のふるさとまつり一番の盛り上がりを見せました。

今月号では、町の魅力がギュッと詰まったふるさとまつりの様子をお届けします。



丞神デナー

1. 大山さゆり太鼓の勇壮な演奏(民俗芸能と民謡の集い)
- ／2. 秋晴れの中でスタートしたにしあいづ紅葉ウォーク
- ／3. 舞らんしょの皆さんによる“よさこい”(さゆりラフ&ミュージックフェス)
- ／4. 西会津高校魅力発信隊ブース“西高カフェ”
- ／5. 第23回桐ゲタ投げ全国大会

各種競技・コンテスト 表彰受賞者

〔敬称略〕

【第23回桐ゲタ投げ全国大会】

小学生男子の部〔7歳〕

- ①水野春輝（6歳 42㌔・森野）
- ②齋藤楽我（4歳 32㌔・会津若松市）

小学生女子の部〔7歳〕

- ①佐藤友愛（4歳 30㌔・楡木平）
- ②伊藤陽和（3歳 72㌔・下小島）

少年男子の部〔13歳〕

- ①新田裕紀（5歳 40㌔・程窪）
- ②佐藤愛斗（4歳 38㌔・楡木平）

一般女子の部〔13歳〕

- ①花城綾姫 **日本新記録**
（6歳 27㌔・沖縄県大宜味村）
- ②立川チハル（5歳 67㌔・白河市）

一般男子の部〔13歳〕

- ①高橋淳史（13歳 35㌔・いわき市）
- ②佐藤健吾（11歳 12㌔・上野尻）

【高齢者・障がい者作品展】

ものづくりの部・大賞

結城民子（吊るし雛・小綱木）

芸術文化の部・大賞

酒井誠明（練鉢・9町内1）

介護サービス利用者の部・大賞

精神デイケアあつまっ会「夕焼小焼」
（切り絵）

特別賞・福島県老人クラブ連合会長賞

社会福祉法人西会津町授産場「出ヶ原
和紙で灯籠づくり」

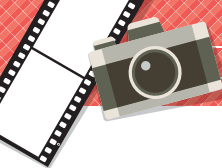
特別賞・日本赤十字社福島県支部長賞

鈴木律子「我が家の一年行事」（巻物・
2町内）

【子育てつばやき川柳】

大賞 高貴な高齢者 「おこづかい
ほしいときだけ お・じ・い・ちゃ・ん」





園児たちが健康について楽しく学ぶ 早寝早起き朝ごはんキャラバン

早寝早起き朝ごはんキャラバンの皆さんが11月1日にこゆりこども園にやってきました。これは、猪苗代町にある国立磐梯青少年交流の家が主催している、幼稚園やこども園の園児を対象とした基本的な生活習慣の大切さを普及・啓発するための活動です。

園児たちは、講師を務めた職員の皆さんと、「早寝早起き朝ごはん」を題材にした紙芝居の読み聞かせを聞いたり、一緒に体操をして体を動かしたりしました。最後には、紙芝居に出ていたキャラクターたちも実際に登場するなど、園児たちは楽しみながら「早寝早起き朝ごはん」の大切さについて理解を深めていました。



(写真提供：西会津高校)

町ゲートボール協会から指導 地域連携授業でゲートボール

西会津高校では、西会津町ゲートボール協会の皆さんを講師に招き、10月中に複数回にわたってゲートボールの授業を行いました。ほとんどの生徒はゲートボール初体験です。協会の皆さんからスティックの持ち方や動かし方、ゲームの戦略などについて丁寧に指導を受けました。ボールを打ってゲートを通させるだけ競技と思っていた生徒からは「誰でも楽しむことができる」「奥が深いスポーツだと実感した」といった感想があがりました。



チーム一丸となって勝利を目指す 町長杯争奪親善ゲートボール大会

10月14日、第41回町長杯争奪親善ゲートボール大会がさゆり公園ふれあい広場で開催されました。今大会では町内の老人クラブなどから19チームが参加し、町長杯をかけた白熱した試合が繰り広げられました。試合は予選ブロックと決勝トーナメントによって行われ、原町Aチームが優勝の栄冠を手に入れました。【大会結果】優勝＝原町A、準優勝＝萱本C、第3位＝原町B、上野尻B



自己ベストを目指して全力疾走！ 西会津小学校 マラソン記録会

西会津小学校のマラソン記録会が10月26日に行われ、気持ちのいい秋晴れの下で児童たちが駆け抜けました。この日のために、朝や体育の時間に練習を積んできた児童たちは、自己ベストの更新などそれぞれの目標を目指して、ゴールまで一生懸命に走りました。コース沿いには、保護者や地域の皆さんのほかにこゆりこども園の園児たちが大勢駆け付け、頑張る児童たちに温かい声援を送っていました。

生徒たちの熱い思いの詰まった文化祭 西会津中学校 光桐祭

10月22日、「真っ白な1ページを自分色に染めよう 笑顔と輝きにあふれた史上最高の光桐祭に！」をテーマに、西会津中学校の文化祭「光桐祭」が開催されました。毎年恒例の合唱コンクールでは各学年がきれいな歌声を披露し、その後の学年発表では生徒たちが練習してきた工夫を凝らした演劇などが行われました。会場からは拍手や歓声、笑い声が上がり、今年の光桐祭も大いに盛り上がりしました。



▲堀越自治区内で行われた第1分団による模擬火災訓練の様子

火災を想定した模擬訓練を実施 町消防団 秋季消防検閲

町消防団による秋季消防検閲が10月23日に各分団ごとに行われました。このうち第1分団の検閲式は西会津中学校体育館で行われ、分列行進や薄町長による通常点検などを実施し、団員の士気の向上が図られました。また、検閲式終了後には、会場を堀越自治区に移して模擬火災訓練を行いました。自治区の協力の下、団員をはじめ、消防支援隊や西会津消防署などが連携して、火災発生時の対応について確認しました。

西中図書館 新刊オススメ本



『名画の中で働く人々』
[中野 京子 著]
集英社

芸術作品は高尚なもので、
見てもよく分からないから難
しいと敬遠してしまうという

人は多いのではないのでしょうか？そんな食わず嫌いな西
洋絵画を「感じる」のではなく、その絵の描かれたエピソードや時代背景などを踏まえて「読み解く」ことで、絵画
を理解し楽しく鑑賞することができると数々の本で著者
は語っています。

今回は、名画の中に登場する人物の職業に注目し、そ
の職業にまつわる起源や歴史、印象的な話を中世から現
代アメリカ絵画まで幅広く紹介します。まさに目からウ
ロコ、違った角度から西洋史の世界をのぞける一冊です。



『思春期のトリセツ』
[黒川 伊保子 著]
小学館

『季節を彩る布絵キルト』
[庄司 京子 著]
ブティック社



『此の世の果ての殺人』
[荒木 あかね 著]
講談社



『恋ふらむ鳥は』
[澤田 瞳子 著]
毎日新聞出版

町民ギャラリー フォトクラブどんぐり

今月は、フォトクラブどんぐり・須藤正二さん（原）の作品です。



📷 作品名

『飯豊山』

📷 作品紹介

この風景は、私の家の後ろから見たものです。晴れた日の飯
豊山は特にきれいです。悩みご
とや心配ごとなどがある時に、
この山を眺めていると、なぜか
心が落ち着き、良いアイデアも
浮かんで来たりします。とても
神秘的な山だと思っています。

勝利に向けて熱戦を繰り広げる！

第9回市町村対抗福島県ソフトボール大会



10月8日、市町村対抗福島県ソフトボール大会が相馬市の相馬光陽ソフトボール場で開幕しました。9回目の開催となった今大会は、県内55市町村が出場し熱戦を繰り広げました。今回が6回目の出場となった西会津町チームは、鈴木信昭監督の下、「初戦突破」を目標に掲げ、今大会に臨みました。西会津町チームの初戦は、当初10月8日に葛尾村と対戦する予定でしたが、相手チームの棄権による不戦勝となりました。その結果、2回戦は翌週15日に行われることとなり、第1回大会で対戦したことがある古殿町と対戦しました。

試合は西会津町チームの先攻で始まり、打線は初回から小刻みに得点し3回終了時点で3対0のリードした展開で進みます。この試合で先発投手としてマウンドに上がった新田翔平選手は、大会に向けて

「ウインドミル」（腕を回転させて勢いをつける投法）の練習を積んできており、3回まで相手打線を無得点に抑える好投を見せました。

その後、新田選手は4回、5回に1点ずつを失いましたが、その力投に応えるように、打線も6回、7回に1点ずつ加点し、7回表終了時点で5対2と有利な展開で試合は進みました。しかし、最終の7回裏に安打や四球で得点を許す苦しい展開に。勝利まであと1人と追い込みましたが、最後に安打を打たれ、5対6で悔しいサヨナラ負けを喫しました。

古殿町と8年前に対戦した時は、1対11で4回コールド負けをした西会津町チームですが、選手の皆さんの努力により競技レベルは確実に向上しています。次回大会でのさらなる活躍が期待される充実した大会となりました。



3市町村の地域資源を活用し、返礼品を共同開発 ふるさと納税共通返礼品に関する合意書調印式

本町・喜多方市・北塩原村は、平成29年にそれぞれが喜多方地方定住自立圏の形成に関する協定を締結し、さまざまな課題に対し連携して取り組んできました。

昨年、喜多方市からふるさと納税共通返礼品の開発の提案を受け、本年度より共同で開発を行ってきました。この返礼品を10月12日より提供開始することを受け、同日に合意書への調印式が喜多方市で行われました。式では、各市町村長が合意書へそれぞれ署名し、今回開発した返礼品の紹介が行われました。今回より3市町村のふるさと納税で提供されることとなったのは、「会津発季節の野菜だより」（3市町村の野菜と米の詰め合わせ）と、「三味一帯 会津ラーメン味巡りセット」（塩、醤油、味噌味のラーメン詰め合わせ）の2品です。



▲写真左から北塩原村・遠藤和夫村長、喜多方市・遠藤忠一市長、薄町長

IBKO 第1回インターナショナルコンベンション空手道選手権 會士館 全国大会への出場を報告

10月25日、會士館の秦貞継館長と目黒心温さん（写真中央）と五十嵐潤さん（写真右）が町役場を訪れ、11月に行われるIBKO 第1回インターナショナルコンベンション空手道選手権大会への出場を薄町長に報告しました。會士館では、この日來庁した2人を含む5人が県大会で好成績を収め、「組手」と「型」の部門で全国大会出場を決めました。

薄町長は「引き続き練習を積んで、しっかり食べて試合に臨んでください」とエールを送り、2人に激励金を手渡しました。



町の魅力発信と観光の活性化を推進 西会津応援大使に佐藤さんを再委嘱

町では、豊かな自然や歴史、文化、観光などの情報を広く発信し、町のイメージ向上と観光の活性化や企業誘致についての情報を得るため、平成30年度より町にゆかりのある町外在住者を「西会津応援大使」として委嘱しています。

今回、以前より応援大使を務めていた町出身の佐藤悟さん（仙台市在住・エスオーインターナショナル㈱代表取締役）の任期を更新し、11月6日に委嘱状交付式を町役場で行いました。任期は令和7年6月末までとなります。



町の活性化に向けて連携して取り組む 埼玉女子短期大学と連携協定を締結

町では、安座自治区のおとめゆりの保護活動などを通じて交流している埼玉女子短期大学と地域連携に関する連携協定を締結しました。

10月22日には、埼玉女子短期大学（埼玉県日高市）において、協定締結式が行われ、同大学の榎沢栄一学長と薄町長が協定書にそれぞれ署名を行いました。本協定では、これまで行ってきたおとめゆりの保護活動のほかに、地域の活性化や教育研究活動の推進、SDGsの普及啓発などを目的としており、町の活性化に向けて互いに協力しながら取り組んでいきます。



ボランティアなどの地域活動への取り組みが評価 いきいき長寿県民賞を橋谷田さんが受賞

県では、中高年や高齢者の社会参加を始めとした“生きがいと健康づくり”を推進することを目的に、年齢を感じさせない生き方をする高齢者や団体を表彰する「いきいき長寿県民賞」を毎年実施しています。

10月19日に25回目となる表彰式が行われ、橋谷田百合子さん（4町内・写真中央）が表彰を受けました。本町からの受賞は橋谷田さんが初めてで、同月24日に町役場を訪れ、大竹享副町長に受賞を報告しました。

橋谷田さんは、精神保健福祉ボランティア「トライアングルの会」をはじめとするボランティア活動に積極的に取り組んでいるほか、町食生活改善推進員や老人クラブ活動など多岐にわたる活動が評価されての受賞となりました。



自身3冊目となる郷土史を出版 長谷沼さんが著書を寄贈

10月20日、長谷沼清吉さん（小清水）が町役場を訪れ、自身が執筆した「家世実紀に見る山村のくらし 会津西北部と小川庄」を町に寄贈しました。自身3冊目の自著となる本書は、会津藩の正式な歴史書である「会津藩家世実紀」から西会津町に関する記録を抜き出し、長谷沼さんが約3年の歳月をかけてまとめたものです。

本書は、にしあいづ観光交流協会の窓口で購入できるほか、西会津中学校図書館でも読むことができます。





地域と連携した「課題解決学習」などの取り組みが評価

西会津小学校・中学校に時事通信社教育奨励賞優良賞

9月26日、時事通信社が毎年発表している創造性に富んだ特色ある教育で顕著な成果を挙げた学校をたたえる「教育奨励賞」において、西会津小学校・中学校が優良賞を受賞しました。

10月31日には、時事通信社福島支局の後藤正明支局長が西会津中学校を訪れ、西会津小・菅家由紀子校長と西会津中・佐藤崇史校長に表彰状などを贈りました。受賞にあたり、後藤支局長からは「西会津小の地域学習や西会津中のキャリア学習など地域社会と連携した教育カリキュラムが高い評価を得た」との講評がありました。



▲写真左から後藤支局長、西会津小・菅家校長、西会津中・佐藤校長

町の教育活動や施設などを視察

県教育委員会・大沼教育長が来町

10月28日、福島県教育委員会の大沼博文教育長(写真右から2番目)と県関係者が来町し、本年度からスタートした第7次福島県総合教育計画に係る先進地視察の一環として、本町の教育活動を視察しました。

当日は、江添信城教育長や家庭教育相談室こころのオアシスの紫藤真理子相談員から町の教育活動に関する説明やそれに対する意見交換などが行われました。このほかにも、西会津小学校・中学校の校舎やこころのオアシス相談室を見学し、各学校の様子などの説明も行いました。



▲こころのオアシスを視察する様子

町教育委員会委員の改選

町教育委員会委員に高橋さんを再任

町教育委員会委員の任期満了に伴い、町では9月議会定例会で同意を得た高橋誠さん(柴崎)を任命しました(2期目)。これを受け、10月17日に町役場で辞令交付式が行われました。式では、薄町長から高橋さんへ辞令書が手渡され、「民間での経験を活かし、新たな視点で町の教育発展に力を貸していただきたい」と訓示がありました。

高橋さんの任期は、令和4年10月15日から令和8年10月14日までの4年間になります。



長年にわたり高齢者の生きがいきづくり活動に貢献

町老人クラブ連合会が厚生労働大臣表彰を受賞

11月8日に東京都で開催された全国老人クラブ連合会創立60周年記念大会において、西会津町老人クラブ連合会が厚生労働大臣表彰・優良老人クラブ(連合会の部)の表彰を受けました。

同月11日、町老人クラブ連合会の荒海清隆会長と役員の皆さんが町役場を訪れ、今回の受賞について報告しました。昭和40年に結成された本連合会は、各種スポーツや奉仕活動などに積極的に取り組み、高齢者が健康で長生きできるまちづくりに貢献しています。



▲写真左から薄町長、荒海会長、二瓶穰副会長、橋谷百合子女性部長、齋藤知一事務局長

手塩にかけた自慢の米を出品

西会津一うまい米コンテスト

町では、西会津産米のおいしさを客観的に評価し、町内外への情報発信による知名度の向上と販売強化につなげるため、「西会津一うまい米コンテスト」を開催しています。

第9回を迎えた今回は「コシヒカリ部門」に110点、「こだわりの品種部門(コシヒカリ以外の町産米)」に11点の出品があり、食味分析計や実食審査で受賞者を決定しました。

11月11日には、本コンテストの表彰式が町役場で行われ、最優秀賞に輝いた三瓶鉄江さん(写真右から2番目)と受賞者の皆さんに表彰状が贈られました。薄町長は「西会津産米の評価は年々高まっている。今後も皆さんのこだわりが詰まった米作りを頑張ってほしい」とあいさつしました。



【コシヒカリ部門】(敬称略)

最優秀賞：三瓶鉄江(出戸)

優秀賞：目黒輝夫(牛尾)、渡部栄次郎(出戸)、江川誠作(牧)、長谷勉(高目)

【こだわりの品種部門】(敬称略)

奨励賞：高橋正(柴崎、品種：ミルキークイーン)

「地産地消」の食育活動を学校給食から推進

西会津産米を使った米粉パンを学校給食で提供

11月15日、西会津産コシヒカリを使用した米粉パンが町の学校給食で初めて提供されました。町では、平成11年度から地元産米などの利用促進と保護者の負担軽減を目的とした学校給食費への補助事業を実施しており、米やミネラル野菜など多くの町内産農産物を利用しています。

米粉パンは「甘くて米の香りがして美味しい」と児童生徒の皆さんからも好評で、今後も月1回程度提供される予定です。





建設水道課からのお願い

冬期間の生活に関するお知らせ（除雪・水道）

除雪作業に対するご理解とご協力をお願いします



◆路上駐車は絶対にしないでください

1台でも路上駐車があると、そこから先の除雪作業が行えない場合があります。夜間の路上駐車は絶対しないようお願いします。

◆除雪時の作業音にご理解ください

通勤や通学に支障が出ないよう、深夜から作業を実施していますので、除雪時の作業音はご容赦ください。

◆屋根からの雪は各家庭で片付けてください

屋根からの落雪や雪下ろしで道路に雪が落ちる場合は、通行の支障とならないよう各家庭での処理をお願いします。

◆障害物には赤い目印を付けてください

除雪作業により破損する恐れのある構造物などは、赤い布切れなどで目立つよう表示してください。

冬期間の水道使用料と使用上の注意点をご確認ください

◆冬期間の水道料金について

12月分～3月分の水道料金、は積雪などにより検針が困難になるため、9月～11月の平均使用水量をもとに算定した概算額を請求します。その後、4月に検針を再開してから過不足分を精算しますので、ご了承ください。

◆冬期間の水道使用の注意点

凍結防止のため、次のことを確認してください。

- ①電熱ヒーターの電源を入れる（電熱ヒーターの点検もしてください）
- ②不凍水抜栓の作動確認を行う（雪による破損防止のため、雪囲いもしてください）
※古いものは新しくしてください
- ③メーターボックスを保温する（メーターボックスに布や発泡スチロールを入れる）

◆漏水の点検について

水道管の老朽化や凍結などにより、気付かないうちに宅内で漏水している場合があります。昨年

◆スノーボールの保全にご協力ください

除雪作業を安全に行うため、道路の路肩に紅白のスノーボールを立てています。除雪作業の「道しるべ」ですので、倒れているボールを発見した場合は、立て直しにご協力をお願いします。

◆除雪車両には絶対に近づかないでください

除雪車両に近づくと大変危険ですので、絶対に近づかないでください。

◆田畑に砂利などが入ることがあります

細心の注意を払い作業にあたっていますが、雪に付着した砂利などが田畑に入ることがあります。自治区などでの砂利拾いにご協力をお願いします。

〈問い合わせ先〉

建設水道課 管理係 ☎45-4530



も凍結による事故が多く見られました。その場合、水道料金が高額になってしまいますので、時々、メーターや家の周りを確認してください。

※漏水を発見した場合は、町指定の給水装置工事事業者か建設水道課に連絡をお願いします。

◆冬期間に家を留守にする場合は…

降雪前に水道メーター休止の手続きを行ってください。降雪後に手続きを行う場合はメーターボックス周辺の除雪をお願いします。

凍結により水道管が破裂したり、凍結防止のために水道を出したままの状態にすると、水道料金に反映され、検針再開時に高額な水道料金が請求される場合がありますので、不凍水抜栓や電熱ヒーターの設置をお勧めします。不凍水抜栓等の設置については、建設水道課または町指定の給水装置工事業者に問い合わせください。

〈連絡・問い合わせ先〉

建設水道課 上下水道係 ☎45-4534

各界の著名人が町内の生産者と交流

西会津産地ツアーを初開催

町では、地場産品のPRや地域産業の活性化のきっかけとするために、町の風土体験や農林産物の生産者などとの交流を目的とした「西会津産地ツアー2022」を10月13日から14日にかけて開催しました。

当日は、首都圏などから料理研究家や作家など各界の著名人約20人が来町しました。参加した皆さんは、町内の農家を訪問して意見交換を行ったり、雪室貯蔵施設や加工所などを視察したりしました。13日の夜には、町内生産者や事業者との情報交換会が開かれ、西会津産米や野菜、そば、馬刺しなど町を代表する料理が振る舞われ、町の特産品を通じて交流が図られました。



▲町の風土や郷土料理について説明を受ける参加者の皆さん（13日の昼食会より）

町長コラム

その29



「町はもつと積極的に町の情報発信をすべきだ」という町民からの意見があった。私も日頃から少し感じているところがあり、全庁を挙げて取り組むよう課長会議などで指示をした。そんな中、町の農林産物（米や郷土食）をPRする事業が開催された。1つ目は「西会津産地ツアー」である。地場産品の風土の体験と生産者との意見交換を行い、農林産物のブランド化や販売ルートの拡大、地域産業の振興を目的に都市圏からテレビ関係者、スパーマーケット、飲食店経営者らなど約20人が参加した。当日夜にはさゆりオートパーク管理棟で情報交換会があり、新米のおにぎりや生そば、郷土料理が振る舞われ大変盛り上がった。帰り道には道の駅にしばらくで多くの農林産物を購入していただいた。2つ目は、東京都で開催した「2022表参道西会津ナイト」である。西会津産米をテーマに、郷土食や地酒を提供したイベントで、予定の50人を大幅に上回る89人の参加があった。これまで西会津産米の魅力発信に携わってくださったさまざまな業種の皆さんが参加し、生産者による特色ある米作りの紹介や会場での購入受け付けなどを通して、西会津産米に対する高い評価を得ることができた。ふるさと応援寄附金などへの今後の発展に期待しているところである。

今は情報化の時代。いろいろなツール（手段）を使って情報発信を有効に行うことが、まちづくりに直結する。今後も、関連する事業をしっかりと確実に進めていきたい。

西会津町長 薄反喜

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

〈問い合わせ先〉

企画情報課 広報広聴係 ☎45-4536



本町と喜多方市と北塩原村の3市町村では、連携して住

消費生活相談窓口のお知らせ

町では、商品券第4弾として、9月中旬より町民1人当たり5000円の商品券を配付しました。この商品券は使用期限が12月末までとなっていますので早めに利用ください。なお、使用期限を過ぎると、商品券はご利用できませんので注意してください。

◆対象者
令和4年8月1日時点で町に住民票がある人

◆使用期限
12月31日（土）

◆問い合わせ先
町商工会 ☎45-3235
町商工観光課 商工観光係
☎45-2213

消費復活商品券は早めに利用しましょう

民の皆さんの消費生活相談に対応しています。

「何度断つても強引な勧誘が続く」「無料と聞いたのに高額な請求をされた」など、消費者トラブルで困った時は、一人で悩まずに喜多方市消費生活センターへ気軽に相談ください。

予約は不要で、電話および来所による相談を受け付けています。また、相談料は無料で秘密は厳守されます。

◆相談専用電話
☎0241-24-5353

◆相談時間
午前8時30分～正午、午後1時～5時（平日のみ）

※相談時間外に相談をしたい場合は、「消費者ホットライン・局番なし188」に電話ください。

◆場所
喜多方市消費生活センター（喜多方市役所本庁舎1階）

◆その他連絡事項
○原則、本人からの相談となりますが、難しい場合は家族や支援者からの相談も受け付けています。

就学前の子どもを持つ保護者の皆さんへ

令和5年度こゆりこども園の入園申し込みを受け付けます

町では、幼稚園と保育所の特長を併せ持ち、その児童に合った保育・幼児教育を受けることができる認定こども園「西会津町こゆりこども園」を開設しています。こゆりこども園では、来年4月からの入園申し込みを受け付けています（現在「こゆりこども園」を利用している園児については、園を通してお知らせします）。

新たにこども園を利用するには、子どもの年齢と保育を必要とする理由や保育の必要量を判断するために町の「教育・保育給付認定」を受ける必要があります。教育・保育給付認定を受けるためには、子育て支援センター（こゆりこども園内）や町役場福祉介護課に備え付けの「施設型給付費・地域型保育給付費等教育・保育給付認定申請書」および下記の必要書類の提出が必要となります。また、入園判定については、保育の必要性や家庭の状況などを踏まえて町が判定し、その結果については後日お知らせします。



◆必要書類

- 施設型給付費・地域型保育給付費等教育・保育給付認定申請書
 - 保護者の就労証明書
 - マイナンバー確認用紙（令和4年1月2日以降に転入した場合のみ）
- ※申請書および関係書類については、町ホームページからダウンロードできます。

◆入園できる児童

生後6か月～就学前の児童（基準日：令和5年4月1日）
※0歳児については生後6カ月を経過してからの受け入れが可能になります。

◆申込期限

12月22日（木）まで

〈提出・問い合わせ先〉

子育て支援センター ☎45-4332



町の子育て支援サイトからも確認できます

西会津町給食センター デジタル見学ツアー⑤

町学校給食センターでは、西会津小学校と西会津中学校の給食（340人分）を、調理員8人・栄養士1人で心を込めて作っています。今回は、給食の調理に欠かせない野菜の処理（洗う・切るなど）の動画を作成しました。下記QRコードから視聴できます。



自動車の登録は済んでいますか

○契約書・保証書・パンフレットなど相談に関する資料がある場合は持参ください。

◆問い合わせ先
喜多方市消費生活センター
☎0241-24-5353

自動車税は、毎年4月1日現在で、運輸支局に登録されている所有者（割賦販売購入の場合は使用者）に課税されます。

例年、「持っていない車の納税通知書が届いた」、「納税



◆登録手続きが必要な場合

- ①住所が変わった
 - ②自動車を人に譲った
 - ③廃車した
- など

◆問い合わせ先

県会津地方振興局 県税部
課税第二課
☎0241-29-5261

お知らせ INFORMATION

ケーブルテレビ さゆりチャンネル 12月の放送案内

◆町議会定例会

生放送 午前10時～
再放送 午後6時～
※放送時間変更になる場合があります。

◆年末年始特番

詳しくはしあいづニュースワイドでお知らせします。

◆問い合わせ先

（二社）西会津ケーブルネットワーク
☎45-4461



生理用品を無償配布します

長引くコロナ禍において、さまざまな事情で生理用品を手に入れることが困難な人に対し、生理用品の無償配布を行います。

◆配布内容

生理用ナプキン1パック（昼用22枚入）

※配布は1人2セットまで。
※在庫がなくなり次第終了。

◆受取時間

午前8時30分～午後5時15分（平日のみ）

◆受取方法

町役場福祉介護課窓口で、本紙記事または町ホームページ掲載記事をスマホなどで女性職員に提示してください。※配布時に氏名や住所の確認は行いません。

◆問い合わせ先

福祉介護課 福祉係
☎45-2214



ホームページからも確認できます

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

◆問い合わせ先

企画情報課 広報広聴係 ☎45-4536

健康！オモシロ座談会

メンバーの皆さんに聞く！

「つながり」の健康について考えよう

町では、「からだ」と「こころ」の健康に加え、人と人、人と地域、人と自然などといった「つながり」の健康も大切にしたいという思いから、この3つの健康づくりを合わせた「さすけねえわ(輪)の健康づくり」を推進しています。

今月は、さすけねえわ(輪)の健康づくりを推進するためにアイデアを出し合っている「健康！オモシロ座談会 Season2」(健康増進計画推進委員会)のメンバーの皆さんにインタビューしました。



健康増進課 健康支援係
にきみつこ 二木 美津子 保健師長

健康！オモシロ座談会には次の3つの部会があり、今回はそれぞれの部会のメンバーから「自分たちのつながりの健康がどのように変化したか」について聞きました。



さすけねえ輪番組制作委員会

「さすけねえ輪」を合言葉に、3つの健康を広め、町全体が健康になるように、ケーブルテレビと連携して番組を制作・放送しています。



のこしたい輪♡つなげ隊

町内の残したい伝統や文化を通して、からだの健康を基礎に、人と人、世代間の交流によるつながりの健康を目指すために活動しています。



自然文化トレッキング探検隊

自然豊かな町内を探検し、地域と人々との交流と歴史などを知る機会を通して、からだもこころも豊かになっていくことを目指しています。

町外の方を西会津町に案内して、絶景スポットや史跡を歩くことはありましたが、町内の皆さんと一緒に町内を歩くと、それぞれが知っている情報が入ってくるので再発見が多くなり、より一層「西会津町」とつながる経験ができました！

健康！オモシロ座談会に参加している皆さんは、自分たちの「つながり」の健康が広がっていることを活動を通して実感しているようです。皆さんも自分にとっての「つながり」の健康とは何か、それを広げるためにはどんなことができるか、ぜひこの機会に考えてみましょう。



集落支援だより

皆さんこんにちは！

地域おこし協力隊1年目の星野壮祐です。

今月の集落支援だよりでは、西会津中学校のアントレプレナーシップ教育発表会や町を訪れた大学生の活動についてお届けします。



地域おこし協力隊 集落支援担当
星野 壮祐 隊員

アントレプレナーシップ教育発表会を開催！

西会津中学校で10月5日に行われたアントレプレナーシップ教育の発表会に参加してきました。アントレプレナーシップ教育とは、起業家的な精神や資質、能力などを育む教育のことです。

西会津中学校の生徒の皆さんは、町の課題を自分たちで発見し、どのように解決するべきかを武蔵野大学の学生に伴走支援をしてもらいながら考えました。

発表会は、西会津中学校多目的ホールで行われ、5、6人の班で7つに分かれて、それぞれが考える町の課題やその解決策を発表しました。「快適な勉強場所を作りたい」「駅を町のシンボルにしたい」「活気ある商店街を復活させたい」などさまざまなアイデアが出ました。西会津で生まれた育った中学生の皆さんの発想は、移住者の私にはないものばかりで驚かされることが多かったです。



今回展示された作品

武蔵野美術大学や東京芸術大学の一部の学生で構成された団体「やどりぎ案内」が町を訪れ、作品展示を行いました。植物で布を染める「草木染め」という技法で作られた布製の作品を木の枝などに括り付けて展示し、訪れた町民の皆さんと触れ合いました。

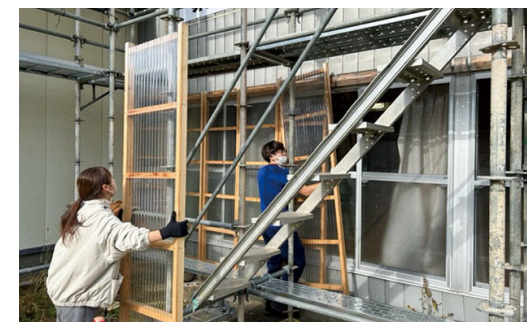
芸大生が山で展示会



落ち葉拾いの様子

東北医科薬科大学から2人の医大生が奥川地区を訪れました。普段から大学で地域医療を学んでいる2人は、地域の住民がどんな生活をしているのかについて関心があるとのことでした。まずは、集落の住民と一緒に落ち葉拾いをし、集落の景観維持活動に取り組みしました。その中で、学生の皆さんは初めて木になっている柿を取って食べるという経験をしました。甘い柿しか食べたことがなかった2人は、食べた渋柿の味に驚きを隠せず、集落の皆さんもその様子を見て楽しんでいました。

医大生が困りごと解決



雪囲いを設置する医大生

ほかにも、これから冬を迎える西会津町では雪囲いの設置をするのが大変だという住民の声があり、その設置の手伝いも一緒に行いました。「雪囲い」というものを初めて見た学生たちは、地域住民との交流を楽しみながら作業をしていました。

今回、集落の日常を体験した東北医科薬科大学の小川泰佑さんは、「貴重な体験ができました。また、年が明けたら来たいと思います。」と話し、西会津町での生活を堪能できた様子でした。

戸籍の窓口

(10月受付分)

■ まちの人口

	11月1日現在	(前月比)
人口	5,723人	(-21人)
男	2,790人	(-5人)
女	2,933人	(-17人)
世帯	2,538世帯	(-1世帯)

■ お悔やみ申し上げます

齋藤 明子 (79)	祐一	母	4町内
大沼 和枝 (91)	哲	母	西平
松澤 ヨシイ (96)	安藤 忠義	母	安座
齋藤 サダ子 (90)	斎藤 宗一	母	萱本
鈴木 常夫 (73)	寿宏	父	松尾
薄上 利夫 (87)	文男	父	上小島
武藤 美佐子 (92)	勝博	祖母	上野尻
長谷川 貫一 (96)	辰男	父	下野尻
伊藤 律子 (86)	勝弘	母	徳沢
折笠 トモイ (86)	誠	母	宮野

Dream

聞いて！わたしの夢



[2年・バレーボール部 部長]

さとう ももは
佐藤 桃羽 さん

◆私の夢——

私の将来の夢は、視能の検査や矯正を行う視能訓練士になることです。

◆努力していること——

視能訓練士になるためにやっていることはあまりありませんが、毎日学校に通えていることや部活動に取り組んでいることに感謝の気持ちを忘れないように心掛けています。

また、あいさつなどの礼儀を心掛けて、将来のために頑張っています。

◆未来の自分に一言——

将来の夢の仕事に就けているか分かりませんが、幸せで後悔のないように生きていってください。

Person

町民バトンタッチ

いがらし かずよ
五十嵐 和代 さん [滝坂]

◆趣味は？

手芸、ガーデニング、映画鑑賞

◆特技は？

すぐ寝れること

◆熱中していることは？

野菜作り

◆自分を一言で表現すると？

おっちょこちょい

◆あなたのモットーは？

“やってやれない事はない、やらずにできる訳がない”

◆最近感動したことは？

苗から育てたぎくの花がきれいに咲いたこと

◆これからやってみたいことは？

いつかは北欧風の素敵な庭を作ってみたい

◆次の方を紹介してください

T・Sさん

とっておきの物は？

パッチワークで作ったタペストリー。かばんを作るのが好きで、その端切れを集めてタペストリーを作ってます。壁などに飾って見たら、部屋が明るくなりました。



薄 美奈子 さん (11月号) からメッセージ

ゆっくり旅行でもしましょう。美味しい野菜を楽しみにしています。



Column

協力隊リレーコラム

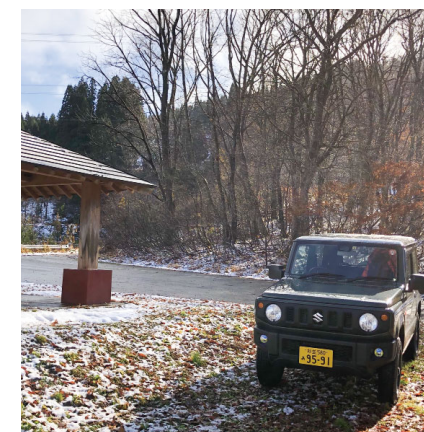
着任2年目を迎えて

お世話になります。有害鳥獣対策担当の地域おこし協力隊として着任し、おかげさまで2年目を迎えることができました。

着任当初は、地理把握に注力してきましたが、年末頃より捕獲活動に重点を置き、町民友会と連携して被害抑止に努めてきました。

イノシシ被害は皆さんも知っている通り、決して減少はしていません。成獣一頭の破壊力は凄まじく、一晩で一反を掘り起こすため油断はできません。雪解け以降、わな捕獲活動も本格的に始め、同じ町民友会との連携で、箱わなでの群れ捕獲を始め、一箇所に集中したわな設置による捕獲にも成功しました。しかし、決して楽な道ではなく、攻め込んでいく銃猟とは違い、待ちのスタイルです。で忍耐力と地道な観察が必要になってきます。

捕獲率を上げるには新鮮な情報が必要不可欠です。ので、町民の皆さんからの情報提供をお待ちしています。今後ともよろしくお願い致します。



こやま たけし
児山 武士 隊員

東京都出身。休日も罾の見回りや痕跡を確認しています。杉並ナンバーのジムニーが圃場付近に停車していても不審車通報しないでくださいね(上写真)。

出ヶ原和紙の作品展示
(ふるさとまつりより)

地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選 その68

文：田崎 敬修

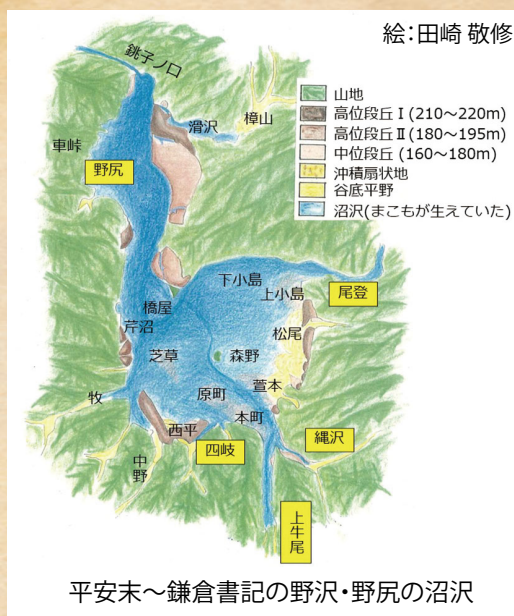
2回水没した野沢盆地

野沢盆地は山間地の小盆地で、阿賀川の河岸段丘面が野沢・尾野本・野尻地区の低平地となっています。約5000年前に沼沢火山が大爆発を起こして大量の軽石が火砕流となって只見川に流れ込み、軽石は水流で粉碎されながら各所の峡谷部で詰まっては崩壊し、野沢盆地に流れ込みました。しかし、下野尻の銚子ノ口で詰まったため野沢盆地は水没し、細かく粉碎された軽石が流下できず大量に堆積しました。軽石粒堆積層が標高180m付近まで見られますが190m以上の高位段丘上には堆積していないので、湖水面は180m以上でしたが190mまでは達していなかったと思われます。

2回目は平安末期～鎌倉初期頃で、やはり銚子ノ口が滝坂山の地滑りで塞がれ、野沢盆地が水没したようです。ただこの時は前回程水没せず沼沢化のようで、野沢には沼沢地に繁茂する真菰^{まこも}の花が咲いているという和歌を『愚管抄』^{ぐかんしょう}の作者でもある天台宗座主慈円^{ざす}（慈鎮）大僧正（平安末期から鎌倉初期の人）が詠んでいることから推測できます。また、東京大学地震研究所に、「平安末期の嘉応2年（1170）、会津に大地震があつて滝坂山が地滑りを起こし、阿賀川・笹川合流点で銚子ノ口を堰き止めた」という資料があるそうです。水没を裏付ける地質・地形的証拠は見つかりませんが、銚子ノ口の閉塞によって野沢盆地が沼沢化したというのは間違いないでしょう。

泥浮山の肝煎・伊藤家に伝わる享和3年（1803）の文書に興味深いことが書かれています。「野沢平は牛海^{うしうみ}といって湖のようで、その湖の辺に尾登・咽尻（野尻）・両又（四岐）・牛尾・舟つなぎ沢（縄沢）という船着場があった。両又の北の如法寺という所から舟で牛尾に乗り付け泥浮山村を通過して居屋倉村へ出て上椿村で渡し舟に乗り柳津村へ出た。これは舟路で御城下への近道である。陸路は台倉山・諏訪峠・黒沢村・大杉山村を通過して切さ坂の茶屋で舟路と出会っていた。その後、牛海の水が退いて野沢平に村ができ東松峠の道が越後街道となつてからは、泥浮山村通りの道は絶えたという。」

現在の野沢の街並みは、この牛海の水が退いてから越後街道の整備とともに出来上がったものです。



平安末～鎌倉書記の野沢・野尻の沼沢

今月の表紙

今月は、第37回西会津ふるさとまつりの桐ゲタ投げ全国大会から。今回で23回目となった今大会は、各部門に町内外から多くの皆さんが出場しました。一般女子の部門では日本新記録が生まれるなど、出場者による渾身^{こんしん}の一投に会場はとても盛り上がりました。（2ページから関連記事）

編集後記

今年のふるさとまつりも2日間じっくりと会場をまわらせていただきました。

このようなイベントの取材では、会場の皆さんが楽しんでいる様子を撮ることはもちろんですが、「食」も楽しみのひとつです（笑）。今年も新そばや味噌ラーメンなど、美味しいものが会場には盛りだくさん。冬支度が始まるこの時期は温かい食べ物に恋しくなりますが、私は2日間とももりそばを美味しくいただきました。（秦）